

日本標準商品分類番号	
872339	
承認番号	(41A)第5338号
薬価収載	1966年3月
販売開始	1966年10月
再評価結果	1990年3月

健胃消化剤

# YM散 「イセイ」

YM powder

貯法：室温保存  
(開封後は密栓して乾燥した場所に保存すること。)

使用期限：外箱及び缶ラベルに表示

### 【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 透析療法を受けている患者〔長期投与によりアルミニウム脳症、アルミニウム骨症があらわれるおそれがある。〕
3. ナトリウム摂取制限を必要とする患者（高ナトリウム血症、浮腫、妊娠中毒症等）〔ナトリウムの貯留増加により症状が悪化するおそれがある。〕
4. 高カルシウム血症の患者〔血中カルシウム濃度が上昇し、症状を悪化させるおそれがある。〕
5. 甲状腺機能低下症又は副甲状腺機能亢進症の患者〔血中カルシウム濃度の上昇により病態に悪影響を及ぼすおそれがある。〕

### ※【組成・性状】

YM散「イセイ」は、1.3g中に下記の成分・分量を含有する。また、本剤1.3gを分包したヒートシール分包剤である。

販売名	成分・分量	添加物	性状	識別コード (分包剤)
YM散 「イセイ」	ジアスターゼ 0.07g サナルミン 0.24g ピオチアスターゼ 0.03g ウイキョウ末 0.02g 合成ケイ酸アルミニウム 0.16g 炭酸水素ナトリウム 0.3g 沈降炭酸カルシウム 0.2g カンゾウ末 0.118g ケイヒ末 0.0745g ショウキョウ末 0.0245g オウレン末 0.05g チョウジ末 0.01g サンショウ末 0.001g	ℓ-メントール	灰白色の粉末である。	IC-241 YM1.3g

### 【効能又は効果】

下記消化器症状の改善

食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐

### 【用法及び用量】

通常成人は1日3回、1回約1.3gずつ食後に経口投与する。

- 7歳以上～15歳未満は 成人の $\frac{1}{2}$ 量  
4歳以上～7歳未満は  $\frac{1}{3}$ 量  
2歳以上～4歳未満は  $\frac{1}{6}$ 量  
2歳未満は  $\frac{1}{10}$ 量

### 【使用上の注意】

#### 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 重篤な消化管潰瘍のある患者〔炭酸水素ナトリウムを配合しているため、症状が悪化するおそれがある。〕
- (2) 腎不全の患者〔排泄障害により副作用があらわれることがある。〕
- (3) 心機能障害のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (4) 肺機能障害のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (5) リン酸塩低下のある患者〔アルミニウムにより無機リンの吸収が阻害される。〕
- (6) 低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕

#### 2. 相互作用

##### 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
活性型ビタミンD	高カルシウム血症があらわれやすくなる。	消化管からのカルシウムの吸収が亢進される。
テトラサイクリン系 抗生物質 塩酸テトラサイクリン 塩酸ミノサイクリン等	本剤との併用により、これらの薬剤の効果が減弱することがあるので、同時に服用させないなど注意すること。	本剤に含まれるアルミニウム、マグネシウム等とキレートを生成し、吸収が低下することにより、これらの薬剤の血中濃度が低下する。
ニューキノロン系 抗菌剤 エノキサシン ノフロキサシン オフロキサシン等	この作用は薬剤の服用時間をずらすことにより弱まるとの報告がある。	
大量の牛乳・カルシウム製剤	Milk-alkali syndrome（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があらわれるおそれがあるため、観察を十分に行い、症状が発現した場合には投与を中止すること。	本剤の吸着作用又は消化管内・体液のpH上昇による作用と考えられている。
その他の併用薬剤	併用薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。この作用は薬剤の服用時間をずらすことにより弱まるとの報告がある。	

#### 3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

分類	頻度不明
長期・大量投与	腎結石、尿路結石
代謝異常 <sup>注1)</sup>	高マグネシウム血症
消化器	便秘
過敏症 <sup>注2)</sup>	発疹
その他 <sup>注3)</sup>	低カリウム血症、血圧上昇、体重増加、浮腫

注1) 長期投与によりあらわれることがある。

注2) 投与を中止すること。

注3) カンゾウを配合しているため、長期連用によりあらわれることがある。

### 【薬効薬理】

- (1) 本剤に配合されているジアスターゼは麦芽由来、従ってαおよびβアミラーゼを含み、弱酸性域で消化力を発揮する。
- (2) サナルミン（水酸化アルミナ・マグネシウム）は白色無味無臭の粉末で、水に不溶、鉍酸に易溶の乾燥ゲルです。本品は中和能が大きく、速効且つ持続性を有し、胃内を至適pH（3～5）に保ち、反動的酸分泌を起さず、本品はもちろん、本品の反応生成物も体内に吸収されないため、アルカローシスの心配はない。

- (3) ビオゲスターゼは麹菌から抽出・精製したもので、炭水化物・蛋白質・脂肪などを消化する30余種の酵素作用を有し、品質・力価が安定で酸・アルカリ耐性など特性を発揮する。
- (4) 合成ケイ酸アルミニウムは胃粘膜を被覆保護して、潰瘍部又は炎症部に対する胃液の刺激を遮り、胃酸を徐々に中和して、生じたケイ酸は胃壁を疵護し、傍生した塩化アルミニウムは胃壁を取斂してその働きを調整する。
- (5) 炭酸水素ナトリウムは胃腸に適度の充血を起こさせて消化管内における水分の吸収を促し、また、胃・血液・尿のアシドーシスに効果があり、粘液溶解作用及び緩衝作用もあるので古くから制酸・健胃剤として使用されている。また、ジアスターゼが発効するに要する弱酸性を保持する為の有効です。
- (6) 沈降炭酸カルシウムは不溶性のカルシウム剤で、胃液の分泌を刺激せず、制酸作用を呈し、また、アルカローシスを起こさない。吸着及び止瀉作用を有するほか、 $\alpha$ -アミラーゼの発効をバックアップする。
- (7) 本剤に配合されている各生薬は何れも日本薬局方に属し、特有の芳香と苦味により適度に消化器管を刺激して、消化液の分泌及び消化管の運動を促進し、特に慢性症に有効です。

生薬名	健胃作用	その他の薬理作用
チヨウジ	芳香性	駆風、去痰 駆風、取斂、鎮吐、解熱、鎮痛 矯味、食欲増進
ウイキョウ	〃	
ケイヒ	〃	
シヨウキョウ	〃	
サンシヨウ	〃	整腸 粘滑、去痰、潰瘍防止
オウレン	苦味性	
カンゾウ	〃	

**【取扱い上の注意】**

**＜安定性試験＞**

最終包装製品を用いた長期保存試験[室温保存、3年]の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、YM散「イセイ」は室温保存において3年間安定であることが確認されている。<sup>1)</sup>

**【包装】**

YM散「イセイ」：100g  
1kg  
1.3g × 840包

**※【主要文献】**

1) コーアイセイ株式会社：社内資料(安定性試験)

**※【文献請求先】**

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

コーアイセイ株式会社 学術部  
〒990-2495 山形市若葉町13番45号  
TEL 023(622)7755  
FAX 023(624)4717



製造販売元<sup>※</sup>  
**コーアイセイ株式会社**  
山形市若葉町13番45号